

**特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2012年度第11回常任委員会 議事録**

- 1 日時：2013年2月19日(水)午後4時～午後7時25分
- 2 場所：東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル地下1階B118区JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数7名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：木山啓子

NGOユニット：橋本笙子

外務省：山口又宏

経済界：斎藤仁

学識経験者：石井正子

代表理事：有馬利男

事務局長：椎名規之

オブザーバー

AAR：坪井

PWJ：山本

外務省：元木

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 第一部：審議事項

(1) 第一号議案：アフガニスタン・パキスタン人道支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① NICCO：アフガニスタン西部における教育環境整備、女性のエンパワーメントと農業支援事業（政府支援金）

条件付き承認。

- ・農業支援の対象となる「貧困層の農民」の定義を明確にし、どの程度の収入向上を目指すのか、具体的な数値を出して指標とすること。

② SCJ：中央高地バーミヤン州 教育復興支援事業3（政府支援金）

条件付き承認。

- ・子ども保健教育に関して、事業期間の最初と最後に本活動に関連する保健指標のデータを取得し、保健教育活動が人々の健康に与えたインパクトを測れるようにすること。
なお、取得したデータの分析結果は事業終了時に報告すること。
- ・車両に関しては、車両を購入しないで事業を実施する可能性も含めて再検討し、購入が必要な場合には詳細な使用計画を提出すること。
- ・子ども保健教育の研修時飲食経費については、購入予定品（水・ビスケット）の現地で

の値段をもう一度確認し必要最低限の費用が再検討すること。また、ECD活動の研修参加者への交通費の支払いもその必要性を再検討すること。

- 学校建設/増築に関連する書類については、引き続き事務局と整理すること。

③ JEN：連邦直轄部族地域クラム管区における帰還民水衛生環境整備事業（政府支援金）再提出。

(2) 第二号議案：「アフリカの角」支援に係る事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① GNJP：エチオピア連邦民主共和国オロミア州南部における家畜用給水所の修復および整備事業（政府支援金）再提出。

5 第二部：審議事項

(1) 第一号議案：第8回、および第10回常任委員会議事録の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
承認。

(2) 第二号議案：2013年度の政府支援金の予算配分について
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

幹事会提案を精査し、予算入金見込の値に合わせたプログラム別の配分枠について承認した。今後はプログラム別の配分枠を基準として、これまで通り各プログラムについて協議することとした。

また、アフリカの角支援は原則2013年5月末にて計画通り終了とする。

(3) 第三号議案：2013年度以降の東日本大震災被災者支援の対応方針について
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

（但し、加盟団体が申請する場合は「現地団体との協働や現地への引継ぎをどのように行うかについて、を申請する際に説明すること」という条件をつける）

6 第二部：報告事項

(1) 「共に生きる」ファンド第11回収支報告書調査結果について
事務局より「共に生きる」ファンド第11回収支報告書調査結果について報告した。

(2) 事務局運営費の報告
事務局より、事務局運営費について報告した。

7 第三部：報告事項

(1) 公開シンポジウム「南スーダンにおける平和の定着と持続的発展」の共催について
事務局より、公開シンポジウム「南スーダンにおける平和の定着と持続的発展」の共催について報告した。

(2) 書面による報告

事務局より、書面をもって以下を報告した。

- ① 政府支援金および民間資金財務状況の報告
- ② 事業計画変更の報告
- ③ メール審議結果の報告
- ④ 固定資産処理の報告
- ⑤ コア・チームの報告
- ⑥ JPF事務局審議結果の報告
- ⑦ 終了報告書審議結果の報告

(3) 次回の開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2012年度第12回常任委員会：2013年3月21日（木）16時より

以上